

観察の眼「裏神鍋高原の秋」

2018年10月05日 作成 古賀

観察コース 道の駅「神鍋高原」～風穴～神鍋山山頂～道の駅～八反の滝



オオブタクサ(キク科・ブタクサ属)
葉は対生、長柄、3～5裂
花は長い花穂に沢山の雄頭花と基部の苞葉に隠れ
2～3個の雌頭花 果実は偽果



アキノノゲシ(キク科・アキノノゲシ属)
花は舌状花だけからなる
昼間は開き、夕方しぼむ
レタスの仲間で茎を切ると乳液が出る



アサクラサンショウ(ミカン科・サンショウ属)
枝に棘が無い
果実がサンショウより大きい



イボタノキ(モクセイ科・イボタノキ属)
果実は黒熟



オオニシキソウ(トウダイグサ科・ニシキソウ属)
腺体は円形、白い花弁に見える所は付属体
茎や柄を切ると白い乳液が出る



カナムグラ(アサ科・カラハナソウ属)
雄花



ヤハズソウ(マメ科・ヤハズソウ属)
小葉を引っ張ると矢筈のような形に千切れる



ツルボ(キジカクシ科・ツルボ属)
ネギ臭 葉は2個が根生する



クワクサ(クワ科・クワクサ属)
葉腋に雄花と雌花が混じってつく



エノキグサ(トウダイグサ科・エノキグサ属)
果実は雄花が下部の総苞に転げ落ち直接受粉



キンエノコロ(イネ科・エノコログサ属)
小穂の基部に黄金色の剛毛(0.7~1cm) 密生



ニラ(ネギ科・ネギ属)
花弁3個、萼片3個



ヨメナ(キク科・シオン属)



ツリフネソウ(ツリフネソウ科・ツリフネソウ属)



クサギ(シソ科・クサギ属)
 紅色の萼片が開き黒藍色に熟した果実が美しい



クロウメドキ(クロウメドキ科・クロウメドキ属)
 長枝の先は棘になることが多い
 果実は黒熟し落葉しても落ちない



イヌガヤ(イヌガヤ科・イヌガヤ属)
 側葉は平面に並び、柔らかく、香りは無い
 写真は仮種皮に覆われた種子



オニシバリ(ジンチョウゲ科・ジンチョウゲ属)
 夏に落葉、秋に新葉と蕾が出、冬に緑性



イヌコウジュ(シソ科・イヌコウジュ属)



ミゾソバ(タデ科・イヌタデ属)
 葉は鉾型、両面に星状毛と棘



キクバヤマボクチ(キク科・ヤマボクチ属)
 花冠は総苞片に被われる



ヒヨドリバナ(キク科・ヒヨドリバナ属)
 短い葉柄があり、卵状披針形の葉
 時に葉はジェミニウイルスに感染する



ヤマハッカ(シソ科・ヤマハッカ属)
葉柄に翼がある、上唇中央部に紫の斑紋



アキノキリンソウ(キク科・アキノキリンソウ属)
花は中心に両性の筒状花、周りに雌性の舌状花



オオカモメヅル(キョウチクトウ科・オオカモメヅル属)
葉は対生し、ヘクソカズラ似だが葉間托葉が無い



ヤマジノホトギ(ユリ科・ホトギス属)
花被片は平開(反り返らない)



ヤクシソウ(キク科・アゼトウナ属)
葉の基部は茎を抱く
頭花(舌状花12~13個)は花後、下を向く



キンキマメザクラ(バラ科・サクラ属)
主に日本海側で育つ
葉の両面に伏毛が散生、葉柄に斜上毛が密生



マツブサ(マツブサ科・マツブサ属)
蔓性木本、右の写真は虫こぶ(マツブサメゴカクフシ)
果実は松脂の風味、枝葉は松脂の香り



ミズナラ(ブナ科・コナラ属)
葉柄は殆ど無い
葉は枝先に集まってつく



ハンショウヅル(キンポウゲ科・センニンソウ属)
葉は3出複葉、3～5脈がハッキリする



コツクバネウツギ(スイカズラ科・ツクバネウツギ属)
萼片2～3個



クマシデ(カバノキ科・クマシデ属)
葉の質感は薄く、平行な側脈は15～24対



タチシオデ(シオデ科・シオデ属)
シオデ似だが葉は薄く光沢が無い
茎は初め直立し後に上部が蔓状になる
果実は白粉を被った黒色



ヤマモミジ(ムクロジ科・カエデ属)の幼木葉



アオツツラフジ(ツツラフジ科・アオツツラフジ属)実



ツルニンジン(キキョウ科・ツルニンジン属)の蕾
葉は互生するが側枝の先で3～4個集まる



ガマズミ(レンプクソウ科・ガマズミ属)の果実
葉や枝に短毛ありザラつく



エゾユズリハ(ユズリハ科・ユズリハ属)
多雪地帯に群生、低木(1~2m)



ツリガネニンジン(キキョウ科・ツリガネニンジン属)
根生葉は長柄で花時には枯れる
茎を切ると乳液が出る



カシワ(ブナ科・コナラ属)
葉はコナラ属中で最大、柄は殆ど無い
鋸歯は丸い波状



サワヒドリ(キク科・ヒヨドリバナ属)
葉は披針形で柄が無く、対生、又は輪生する
花冠から飛び出しているのは先が2裂した柱頭



ヤマトアオダモ(モクセイ科・トネリコ属)
奇数羽状(小葉2~4対)、小葉柄(0.3~1cm)



オトコエシ(スイカズラ科・オミナエシ属)
葉は対生し羽状に分裂



クサボタン(キンポウゲ科・センニンソウ属)
雌雄異株(写真は雌株)



カエドコロ(ヤマノイモ科・ヤマノイモ属)
雌雄異株(写真は雄株)



ウツボグサ(シソ科・ウツボグサ属)
別名を夏枯草(花が枯れても立っている)
花後茎の基部から匍枝を出す



オトコヨモギ(キク科・ヨモギ属)
頭花外縁部の雌花だけ結実し、両性花は無結実



シラヤマギク(キク科・シオン属)
舌状花の数は少ない



スズサイコ(キョウチクトウ科・ガガイモ属)
花は早朝開き、日が当たると閉じる



クリ(ブナ科・クリ属)



カラスノゴマ(アオイ科・カラスノゴマ属)
左は果実、花は長い仮雄しべ(5)本雄しべ(10~15)



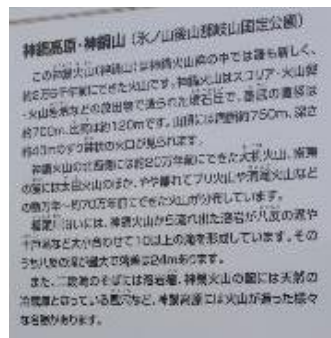
クルマバナ
(シソ科・トウバナ属)



ミソハギ(ミソハギ科・ミソハギ属)
多年草、葉は十字対生、茎を抱かない 写真右は萼
花弁4~6個、中長雌しべ1個、長雄蕊6個、短雄蕊6個



クロバナヒキオコシ
(シソ科・ヤマハッカ属)



神鍋山・説明



噴火口



オミナエシ(スイカズラ科・オミナエシ属)
茎の毛はオトコエシより少ない



黒ボク土



スコリアの説明



八反の滝